学校番号	３０２３

令和２年度　国語科

教科	国 語	科目	古典Ｂ （文理学科理科）	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「改訂版 古典Ｂ 古文編」「改訂版 古典Ｂ 漢文編」　（数研出版）						
副教材等	「わかる・読める・解ける Key Point 古文単語 330 三訂版」（いいずな書店）・「精説漢文改訂版」（いいずな書店）・「プレミアムカラー国語便覧」（京都書房） 「八訂版　読解をたいせつにする　体系古典文法」（数研出版）　「センター試験過去問レビュー2021」（河合出版）「プログレス古典総演習発展編」（いいずな書店）　「古典速読トレーニング標準」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典を読む能力を養うことを通じて、ものの見方、感じ方、考え方を広め、人生を豊かにする態度を育てます。
・3 年生では、いっそうの文法知識、古語、漢語の語彙の強化を目指し、古典読解の習熟を目指します。辞書を引き、予･復習に時間をかけて、副教材を有効活用しながら、力をつけて下さい。
・古文では、人物関係の把握を主軸に読解を進め、文法では、助動詞と助詞、および敬語に注目した学習を進めます。語彙の領域では、用言を中心に、名詞、副詞、連体詞にも注目します。
・漢文では、文脈把握に重点を置いた学習を進めます。頻出句法をマスターし、語彙力も強化して、漢文を読解する力を養います。
・いつも自分が授業の主役、当事者であるという気持ちで臨んで下さい。
・学力の向上には、まず授業を大切にする姿勢が大事です。3 年次の理系は、1,2 年次より古典の単位数が減りますが、その分を集中力を増して限りある時間を大切にしましょう。
・小テストは事前にしっかり学習して臨みましょう。間違えた箇所を丁寧に見直し、克服して下さい。
・提出物は期限を守って提出し、楷書体で丁寧に書きましょう。
・受け身の姿勢ではなく「読む」「書く」「話す」等のアクティブな活動を重視した授業を行います。
・定期考査は学習計画を立てて臨んで下さい。

2　学習の到達目標

・優れた古典の文章を通して、作品の背景知識や我が国の伝統と文化に対する理解を深める。
・構成や構文に留意し、語句の意味を的確に捉えて、文章の内容を理解する。
・古文においては、主体判定・５Ｗ１Ｈを押さえつつ、登場人物や筆者の心理を読み解く。
・漢文では、比喩や寓話を的確に読み取り、また、字義と句法をしっかりと理解する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	授業に積極的に取り組み、古文・漢文について自ら学ぶ意欲がある。			・古典作品に表れた主張・心情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることができる。	古典の理解に必要　　な音声、文法、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・提出物の点検（ワークシート等）			・記述の確認及び分析（ワークシート・原稿用紙等） ・小テスト ・定期考査	・記述の確認及び分析（ワークシート・原稿用紙等） ・小テスト ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期　第1中間考査まで	随筆	「枕草子」 宮に初めて参りたるころ （p.130～）	○			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
	日記文学	「蜻蛉日記」 うつろひたる菊 （p.136～）	○			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題　等

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期 第1中間考査まで	逸話	「三横」（世説新語） （p.74～）	○			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期 第2中間考査まで	日記文学	「紫式部日記」 土御門邸の秋 （p.142～）	○			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等
	物語	「源氏物語」 須磨 （p.156～）	○			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等
前期 第2中間考査まで	小説	「人面桃花」（本事詩） （p.79～）	○			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期 期末考査まで	物語	「源氏物語」 紫の上の苦悩 （p.165～）	○			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等
	歴史物語	「大鏡」 道真と時平 （p.184～）							
	漢詩	「古体詩」 代悲白頭翁 （p.92～）	○			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等
	随筆・詩話	売油翁（帰田録）							

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
後期 中間考査まで	歴史物語	「無名抄」 俊成自讃歌のこと （p.210～） 「風姿花伝」 秘すれば花 （p.223～）				○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
後期 中間考査まで	史伝	「廉頗・藺相如」（史記） 璧を趙に帰さしむ				○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等
	近世随筆	「玉勝間」 師の説になづまざること （p.226～）							
後期 期末考査まで	近世小説	「雨月物語」 浅茅が宿 （p.236～）				○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等
	文章	「捕蛇者説」（柳河東集） （p.122～）							

※ 表中の観点について

a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※ 年間指導計画作成上の留意点

原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において、特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

また、生徒の学習達成度により、予定を変更する可能性がある。